KYOTO地球環境の殿堂
京都環境文化学術フォーラム
企業等連携のお願い

京都環境文化学術フォーラム

（構成団体）京都大学、総合地球環境学研究所、京都府立大学、
国際日本文化センター、京都府、京都市

1　趣旨

2　概要

3　メリット

4　連携方法

5　申込方法

6　参考

THE EARTH HALL OF FAME KYOTO

＊　COP26では、気温上昇を産業革命前より1.5度高い水準に制限するための努力を継続することが、国際社会の長期的な目標であるという認識が共有され、ESG投資が国際的に広まるなど、企業にとっても脱炭素化に向けた取組や環境負荷の軽減等への取組が求められています。

＊　京都議定書誕生の地 京都では、世界で地球環境の保全に多大な貢献をされた方々を顕彰する「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式とそれに関するイベントとして「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウムを開催し、世界に向けて発信しています。

＊　本フォーラムでは、殿堂入り者の記念講演やパネルディスカッションのほか、企業との連携を行うサイドイベントとして、地球環境保全・脱炭素社会の実現に資する協賛企業の先進的な取組等を発信するシンポジウムや、協賛企業や研究機関等による出展ブースを設置予定です。

＊　本フォーラムへの協賛をご検討いただきますようお願いします。

1　趣旨

2　概要

3　メリット

4　連携方法

5　申込方法

6　参考

THE EARTH HALL OF FAME KYOTO

【主　催】京都環境文化学術フォーラム
（京都大学、総合地球環境学研究所、京都府立大学、国際日本文化センター、京都府、京都市）

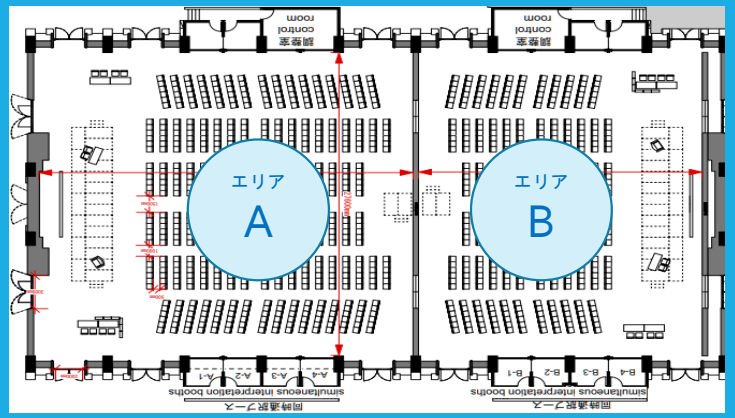
【場　所】国立京都国際会館・Annex Hall

【日　程】2022年11月14日（月）

【時　間】シンポジウム　10:00～12:00
出展ブース　10:00～16:30

【入場料】無料

【定　員】600名



	エリアA	エリアB
10:00~12:00	協賛企業によるシンポジウム	出展ブース（3m×3m）
13:00~16:30	表彰式、殿堂入り者による記念講演・トークセッション、殿堂入り者・有識者等を交えたパネルディスカッション等	

1　趣旨
2　概要
3　メリット
4　連携方法
5　申込方法
6　参考

THE EARTH HALL OF FAME KYOTO

国内外の殿堂入り者が集うイベントで、貴社の取組を紹介できます！

- ✓ 京都府・京都市に加え、大学や研究機関が参画する当事業とともに貴社の環境の取組を発信できます。
- ✓ シンポジウムでは、貴社の環境の取組を若い世代も含め来場者の方へ直接紹介いただくとともに、HP等で発信します。
- ✓ 国際的にもESG投資等の環境に配慮したビジネスモデルが注目される中、貴社・貴団体の取組を幅広い層に紹介できる機会が得られます。
- ✓ 当フォーラムとして、これまで以上に企業の脱炭素化等の取組の発信を図っていることから、マスコミへの露出が期待されます。

1 趣旨
2 概要
3 メリット
4 連携方法
5 申込方法
6 参考

THE EARTH HALL OF FAME KYOTO

	登壇プラン	出展プラン
内容	・シンポジウムへの登壇 ・ブース出展 ・HPや冊子へロゴ（大）を掲載	・ブース出展 ・HPや冊子へロゴ（小）を掲載
	・当日のチラシ配架 ・貴社・貴団体での殿堂事業に関するクレジットの使用 ・当日の招待者席確保	
協賛金	５０万円	１０万円
留意点	・シンポジウムの構成、テーマ等は申込状況に応じて決定 ・「ブース出展」とは、場所の提供を指す	・「ブース出展」とは、場所の提供を指す

1 趣旨
2 概要
3 メリット
4 連携方法
5 申込方法
6 参考

THE EARTH HALL OF FAME KYOTO

【方　法】メール

【必要物】別紙「申込書」「ロゴデータ」

【提出先】下部のとおり

【締　切】2022年9月22日（木）

<申込・問合せ先>

組　織：京都環境文化学術フォーラム
（京都府 府民環境部 脱炭素社会推進課）

担　当：河野・森

メール：datsutanso@pref.kyoto.lg.jp

電　話：０７５－４１４－４８３０

1　趣旨

2　概要

3　メリット

4　連携方法

5　申込方法

6　参考

THE EARTH HALL OF FAME KYOTO

今年度（第13回）の殿堂入り者

ヨハン・ロックストローム 氏（1965年生 スウェーデン）

【ポツダム気候影響研究所長】

「人類が生存できる範囲の限界（プラネタリーバウンダリー）」の概念を提唱するなど、地球環境問題の解決に資する画期的な学術研究で貢献

村上 一枝 氏（1940年生　日本）

【歯科医師、特定非営利活動法人 カラ＝西アフリカ農村自立協力会代表】

砂漠化と疾病、貧困に苦しむ西アフリカの農村地域において、地域の人々に寄り添いながら、地域環境と人々の暮らしを両立させる持続可能な社会をローカルから支える活動（公衆衛生、環境保全、教育活動等）を継続的に実践

西岡 秀三 氏（1939年生　日本）

【公益財団法人　地球環境戦略研究機関（IGES）参与】

30年にわたるIPCC、UNEP等での活動を通じて、日本の地球環境研究（主に気候変動分野）の国際貢献を推進し、洞爺湖G8サミットで日本が提唱した「国際低炭素社会研究ネットワーク構想」の運営により、アジア各国をはじめとする国内外の気候政策の科学基盤構築に貢献

1　趣旨

2　概要

3　メリット

4　連携方法

5　申込方法

6　参考

THE EARTH HALL OF FAME KYOTO

昨年度（第12回）の様子

← 表彰式

記念講演 →

← トークセッション

パネルディスカッション →

1 趣旨

2 概要

3 メリット

4 連携方法

5 申込方法

6 参考